

東京都内商店街視察

7月21日(水)から22日(木)の2日間に亘り、奈良市中心市街地活性化研究会が実施した東京都品川区の戸越銀座商店街ほかへの視察研修に、商工会議所小売部会と共に参加しました。

一日目は、まず昨年国の「新・がんばる商店街77選」に選ばれた戸越銀座商店街を訪問。戸越銀座銀六商店街振興組合理事長の亀井哲郎氏より戸越銀座の名前の由来や活性化に向けた取り組みについてお話をお聞きしました。

戸越銀座商店街は、戸越銀座商栄会商店街・戸越銀座商店街・戸越銀座銀六商店街で組織されており、約400店舗全長1.6kmの商店街を形成され、ここ数年前よりテレビ等によく取り上げられ、その要因となったのは「とごしぎんざブランド」、これは、「ここでしか買えない商品を作ればお客さんは探してでも来てくれる。スーパーと価格競争になることもない。」という発想から生まれたのが様々な戸越銀座ブランド。

亀井理事長のお話では、今から20年程前は商店街の活性化と言えばカラー舗装やアーチ、アーケード等のハード整備や七夕まつりなどのソフトイベントの時代でしたが、お客さんのライフスタイルに変化が生じてきた。商店街近隣住民は一階が店舗、二階以上が賃貸マンションとまちなかに人は住んでおられるが、その人達の出勤は朝9時に、また帰ってこられるのは夜9時頃で、商店街は朝9時以降に各店が開店し、夜9時までには閉店している。コンビニなどの出現で今や商業構造上、バブル期以降は商店街が無くては住民は困らない時代が来ている。イベントを実施しても、いつの間にかお客さんは来なくなり、日曜日は7割がシャッター通りになって行き、東京の商店街の中でも買物順位は後ろの方に。商店街を通らず裏通りを通って駅に行くといった商店街を通りたくない人が出てきた。

そこでフリーマーケットを行ったら、約1万人の人が集まったが、その後商店街から苦情が出てきた。あくまでもイベントは一過性のものであって、その時だけしか人が来ない、そこで60歳以上のお客様限定のシルバーカード事業を行い、現在会員は約1,000名程で特典としてシルバーカードの会員に500円の商品券を無料で配った。しかし、あるおばあさんが、こんなものを買っても、この商店街に私の欲しい物は売っていないと言われたそうです。それでも商店街を何とかしなくてはと「とごしぎんざブランド」をと。ここにしか無い、ここでしか買えない商品を持つことによって立地の良い駅前でもなくても、駅から離れていても買物に来て頂けるお客さんが増えてきたとのこと。



とごしぎんざブランドは、一店逸品運動とは違い商店街というエリアを、地域性を高めること。無添加・高品質・真心をコンセプトに開発された「とごしぎんざブランド」によって衰退の道を歩んでいた商店街が、マスコミに取り上げられた影響もあって、今では大勢の「とごしぎん

ぎブランド」ファンが生まれつつあるとのことです。

引き続き、ユビキタス商店街プロジェクトについて、以前から商店街に関わってこられている株式会社商店街プロダクションの竹地氏の説明を受けました。このプロジェクトは 2006 年度から 2012 年度まで電線類地中化事業に併せて、高度なインフラ整備が行われます。戸越銀座商店街・品川区・明治大学が連携し通信インフラの活用により商店街全体をネットワーク化し様々な情報の発信、受信を、また商店街だけでなく地域の防災や安全と言った暮らしの情報などを発信し、その結果をまちづくりに反映して行きます。

従来電線類地中化に伴うトランスは歩道上に設置されていたが、今回のプロジェクトではトランスを街路灯の上に設置すると言った独自の手法で現在工事が進められているとのこと。また商店街での会員からの会費を上げられない、そこでフラッグには広告を取ったりして、外部からの投資を受け自立した商店街をつくる第一歩であるといったお話を伺いました。

今回、亀井理事長のお話を伺って、これからの商店街はそれぞれが生き残るための創意・工夫が必要であり、商店街として大事なものは価格競争や品揃えではなく、独自のコンテンツをしっかりと持つことだと言うことを今更ながら教えていただいた気がいたしました。



その後、この日は戸越銀座商店街から 1.2km 程離れた全長 800m のアーケードで知られる武蔵小山商店街（パルム）を視察。商店街の道路幅員も広く、平日だということに大変人通りも多くとても活気に溢れた商店街だなあと感じました。また商店街内で安全のため自転車は降り

て通行ねがいますといったプラカードを持った商店街関係者と思われる二人の方が回っておられました。安全・安心面に積極的に取組まれておられることに興味いたしました。

二日目は、巣鴨地蔵通り商店街を視察。

「お年寄りの原宿」と呼ばれ、さぞや大勢のお年寄りで賑わっているのだろうと思って行きましたが、東京はここ数日非常に気温が高く、この日も 36 度以上の暑さで思っていたほどには人の姿は見かけませんでした。とげぬき地蔵尊の高岩寺にお参りし、その後山手線で日暮里駅まで行き谷中銀座商店街へと行きました。この商店街は平成 8 年の NHK 朝の連続テレビ小説「ひまわり」（女優、松嶋菜々子出演）の舞台となった商店街であったことを今回の視察で初めて知りました。各個店の入り口上には大きさが統一された手彫りの看板が掲げておられ、レトロ風な商店街で何故か私が子供の頃の昭和のなつかしさを感じました。その後、また日暮里駅まで戻り、次に映画「男はつらいよ」の舞台になった柴又帝釈天参道へと視察に行きました。映画の中でしか知らなかった寅さんの故郷を視察、その後今回視察先の最後となった浅草、雷門から浅草寺まで至る仲見世は国内はもとより各国の観光客で大変賑わい、暑さを忘れるほどの活気で賑わっていました。

今回、東京の戸越銀座商店街を中心に視察し感じたことは、商店街だけの活性化と言っている時代はもう過去のことであって、これからのまちづくりは、如何に時代にあったニーズを見極め地域のすべての人々が安全で安心して暮らせるまち、誇れるまちに皆が一体になって取り組んで行くことの大事さを改めて考えさせられました。



韓国「市場経営センター」から商店街視察に！

去る7月12日(月)に韓国政府中小企業庁の傘下機関である市場経営支援センター関係者一行20名が、小西さくら通り商店街(井岡理事長)と奈良もちいどのセンター街(松森理事長)を視察に訪れました。20名の方々は、韓国各地から参加された商店街や市場の店主15人、また市役所・区役所職員3名、市場経営支援センター職員1名と通訳1名といったメンバー構成でした。

まず一行は、奈良マーチャントシードセンター研修室で当中心市街地活性化協議会の木野本事務局長より奈良市中心市街地活性化基本計画の概要について説明を受けられ、続いて小西さくら通り商店街の井岡理事長より、小西さくら通り商店街で取組まれた「一店逸品」運動、また商店街での七夕イベントなどについて説明がなされました。その後、奈良もちいどのセンター街の松森理事

長より空き店舗対策として取組まれた「夢キューブ」オープンに至る経緯や、テナントミックス事業として国の補助金を活用した「フレッシュマート オークスト」の開店などの説明がなされました。

説明が終わり、質疑応答の時間に移り熱心に聞いておられたのか沢山の質問があり、井岡理事長、並びに松森理事長がそれぞれの質問に答えられておられました。

マーチャントでの研修が終わり一行は、もちいどのセンター街の夢キューブやオークスト、その後小西さくら通り商店街へと現地を視察して回られました。

もちいどのセンター街では、ちょうど視察に来られる数日前から英語・中国語・韓国語でのセンター街の案内放送がおこなわれており視察者一行も聞き入っておられました。



もちいどの 餅飯殿センター街

奈良で最も古い商店街のひとつ「餅飯殿センター街」。「餅飯殿」の地名の由来は諸説ありますが、こんな伝説が残されています。今から千百年余り前、東大寺の高僧、理源大師が、大峰山の行者を困らせる大蛇退治に出かけることになりました。そのお供に名乗り出たのがこの町の箱屋勘兵衛と若者七人衆。たくさんの餅をつき、干飯を作り、大峰山に向かいます。そして、大蛇の被害を受けた人々たちに「餅」や「飯」を配り、無事に大蛇を退治します。その後、理源大師は、この町の若者に「餅飯の殿」の称号を与えその労をねぎらいました。以来、この町を「餅飯殿」と呼ぶようになったということです。

Mochiido Center Gai

Mochiido Center Gai is one of the oldest shopping arcades in Nara. The name, which means “mochi” (rice cakes) and “meal/cooked rice,” is said to have its origins in the Orochi Taiji legend from more than 1,100 years ago about the slaying of a giant serpent.

餅飯殿中心街

餅飯殿中心街は奈良最古の商店街之一。含义为“餅”(黏糕)、“飯”的地名，其来历据说源于距今1100多年前消灭大蛇的传说。

모치이도노 상가

나라에서 가장 오래된 상점가의 하나인 ‘모치이도노 상가’. ‘떡’과 ‘밥’을 뜻하는 지명은 지금부터 1,100여년 전 큰 뱀을 퇴치한 전설에서 유래되었다는 설이 있습니다.



花芝地蔵盆



先月7月23日(金)花芝商店街(橋野会長)では、午後4時から花芝地蔵盆に併せたイベントが開催されました。当日は花芝商店街や奈良女子大学漫画研究会などからの屋台が出たり、イベントとしての特設テントでは子供ゲームコーナーの他、パントマイムの公演や、子供から大人まで楽しめる科学実験教室、シンガーソングライターによる弾き語りなど色々な催しが繰り広げられました。



今回のイベントの特徴は、「ダンストリビュート」と呼ばれるもので、これは昨年6月に急逝した、マイケル・ジャクソンさんの歌やダンスから、たくさんの夢や感動をもらったことに対する感謝の気持ちをこめて踊るゲリラダンスのことで、マイケルさんのヒット曲「ビート・イット」の曲に合わせて約50名が参加され、また、まんとくんも登場して今年の花芝地蔵盆は大変盛り上がりおりました。

2010年はじまりは正倉院展 あるくん奈良スタンプラリー

<スタンプラリー期間>

2010年10月16日(土)～11月15日(月)

開催初日は新企画として奈良飲食店を気軽に楽しめる「あるくん奈良まちなかバル」も開催されます!

【あるくん奈良まちなかバル・イベント内容】

とき 10月16日(土)

ところ JR奈良駅・近鉄奈良駅周辺の参加協力飲食店

- スペインの食文化を代表する「バル」を奈良のまちなかに再現し、お店が出す「ワンドリンク+1品(つまみ)」をハシゴして歩くイベントです。
- 一冊3,000円(600円のチケットが5枚つづり)を前売りチケットとして販売します。バル参加希望者はこれを購入することでイベントに参加いただけます。

- 「あとバル」として、参加者は未使用のチケットをバルの翌日10/17～10/21まで使用できます。

【バルに関するお問い合わせ先】

奈良市中心市街地活性化協議会事務局

※ 月～金 9時～17時

tel&fax : 0742-26-1666

E-mail : narachukatsujimu01@yahoo.co.jp

〒630-8586 奈良市登大路町36-2

(奈良商工会議所内)

今年の第62回 正倉院展は

<会期> 平成22年10月23日(土)

～11月11日(木) 全20日

<会場> 奈良国立博物館 東・西新館